

健やか親子21検討会報告書

—母子保健の2010年までの国民運動計画—



平成12年11月

健やか親子21検討会



目次

はじめに

第1章 基本的な考え方

第1節 「健やか親子21」の性格	1
第2節 「健やか親子21」の基本的視点	1
第3節 「健やか親子21」の課題設定	1
第4節 「健やか親子21」の推進方策	2
1 基本理念	2
2 「健やか親子21」の推進方策	3

第2章 主要課題

第1節 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	4
1 問題認識	4
2 取組の方向性	4
(1) 思春期の健康と性の問題	
(2) 思春期の心の問題	
3 具体的な取組	6
(1) 思春期の健康と性の問題	
(2) 思春期の心の問題対策	
第2節 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援	8
1 問題認識	8
2 取組の方向性	8
(1) 妊娠・出産の安全性と快適さの確保	
(2) 不妊への支援	
3 具体的な取組	9
(1) 妊娠・出産の安全性と快適さの確保	
(2) 不妊への支援	
第3節 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備	12
1 問題認識	12
2 取組の方向性	12
(1) 地域保健	
(2) 小児医療	
3 具体的な取組	15
(1) 地域保健	
(2) 小児医療	
第4節 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減	18
1 問題認識	18
2 取組の方向性	19

(1) 子どもの心と育児不安対策	
(2) 児童虐待対策	
3 具体的な取組	20
(1) 子どもの心と育児不安対策	
(2) 児童虐待対策	

第3章 推進方策

第1節 「健やか親子21」の推進方策について	23
第2節 関係者、関係機関・団体の寄与しうる取組の内容の明確化	23
1 国民（住民）	23
2 地方公共団体	23
3 国	24
4 専門団体	24
5 民間団体	25
第3節 「健やか親子21推進協議会」の設置	29
第4節 目標の設定	29
1 目標設定の考え方	29
2 指標設定のプロセス	30
別表 各課題についての取組の目標（2010年まで）	31

おわりに

（参考資料） 運動展開の手法

- 1 プレシード・プロシードモデル
- 2 地域づくり型保健活動
- 3 ソーシャルマーケティング

「健やか親子21」検討会開催状況

「健やか親子21」検討委員名簿

はじめに

「健やか親子21」は、これまでの母子保健の取組の成果を踏まえ、残された課題と新たな課題を整理し、21世紀の母子保健の主要な取組を提示するビジョンであると同時に、それぞれの課題についての取組の目標を設定し、関係者、関係機関・団体が一体となって推進する国民運動計画である。

「健やか親子21」は、安心して子どもを産み、健やかに育てることの基礎となる少子化対策としての意義に加え、少子・高齢社会において、国民が健康で明るく元気に生活できる社会の実現を図るための国民の健康づくり運動（「健康日本21」）の一環となるものである。

平成12年2月に関係専門家等による検討会を設置し、母子保健に関する主要課題として、①思春期の保健対策の強化と健康教育の推進、②妊娠・出産に関する安全性と快適性の確保と不妊への支援、③小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備、④子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減、の4課題を設定し、約9か月にわたり9回の検討会を開催し議論を進めてきたが、今般、その報告書を取りまとめた。

今後、この報告書を踏まえ、住民一人一人が自らの決定に基づいて、健康増進や疾病の予防、さらに障害や慢性疾患をコントロールする能力を高めること及び健康を支援する環境づくりを柱とする公衆衛生戦略であるヘルスプロモーションの基本理念に基づき、国民をはじめ地方公共団体、国、専門団体、民間団体等が連携し、21世紀における「健やかな親子像」を目指した国民的な運動が展開されることを期待する。

